

第 15 回憲法問題連続講座

直接会場へお越し下さい
入場無料です

『琉球弧の島々の軍事要塞化— 宮古島で進む戦争準備に抗する!』



講師 清水 早子さん

【講師プロフィール】

宮古（島）平和運動連絡協議会共同代表・宮古島ピースアクション実行委員会代表・止めよう「自衛隊配備」宮古郡民の会事務局長を務める。1995年より宮古島に就労し、居住。下地島空港の軍事利用に反対し、反軍・反基地運動にとりくんで20年。素潜り歴35年。

- 日時 9月14日(木) 18時30分～20時
- 場所 北海道自治労会館 4階ホール
札幌市北区北6条西7丁目

【開催にあたり】 防衛省は南西シフトと称して奄美大島から宮古島などの島々に自衛隊基地の配備を計画しています。宮古島には2018年度の「配備計画」で、警備隊、地対空ミサイルなど、隊員700～800人の配備が予定されています。昨年11月の海兵隊のフェイスブックでは、沖縄・キャンプコートニー（うるま市）において、海兵隊と陸上自衛隊が合同で、宮古島の地図を真ん中に取り囲み、戦場に見立てた戦闘指揮訓練をしている写真（右）が公開されました。このように、安保政策ではリュウキュウ弧が、辺境の地が打ち捨てられること、再び、オキナワが次なる戦争も捨て石にされることを島民は拒み抗している現状を、現地にて反対運動をしている「清水早子」さんに報告していただきます。



海兵隊のフェイスブックで公開された、海兵隊と陸上自衛隊が合同で、戦闘指揮訓練をしている写真

主催 戦争をさせない北海道委員会 北海道平和運動フォーラム TEL011-231-4157

ホームページ・フェイスブックにて、これからの情報をお伝えしています！！

「北海道平和運動フォーラム」で検索または、<http://peace-forum.org/>